

## ごみ処理の課題

### 1. 既存計画の課題

---

次ページの整理に基づき、既存計画の課題のうち、新計画でも継続して課題となる事項は以下のとおりです。

#### (1) 収集運搬

- ・分別の徹底（可燃ごみ中の焼却不適合物や廃プラスチック、事業系ごみなど）
- ・生ごみの減量化
- ・ごみ分別やごみ出しルールの徹底
- ・ごみ出し困難世帯への対策（高齢者、障害者など）
- ・不法投棄への対策
- ・資源物持ち去り業者への対策
- ・戸別収集の検討

#### (2) 中間処理

- ・資源化の推進（剪定枝、小型家電、事業系ごみなど）
- ・粗大ごみの自己搬入受入体制の検討
- ・災害時の処理体制確保（多目的ストックヤードの整備など）
- ・将来の施設整備に向けた検討（非焼却処理への転換、高効率ごみ発電の検討など）
- ・各施設の適切な維持管理・施設整備
- ・廃棄物処理費用の負担の最適化

#### (3) 最終処分

- ・最終処分量の減量化
- ・最終処分先の安定確保

#### (4) その他項目

- ・効果的な環境教育の実施
- ・地域貢献事業の実施
- ・災害廃棄物処理体制の構築
- ・処理体制・各処理施設の強靱化
- ・家庭ごみ有料化の検討

既存計画の課題	新計画でも継続する課題
<p><b>(1) 収集運搬</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみ中の焼却不適合物への対策</li> <li>・廃プラスチックの分別徹底</li> <li>・事業系ごみの分別徹底</li> <li>・生ごみ、草木搬入量増加への対策</li> <li>・分別区分の統一に向けた検討</li> <li>・ごみ集積所におけるごみ出しルールの周知</li> <li>・外国人世帯や単身者世帯に対する家庭ごみの分別方法の周知</li> <li>・ごみ出しが困難な高齢者等世帯への対策</li> <li>・不法投棄（特にリサイクル家電）増加への対策</li> <li>・資源物持ち去り業者への対策</li> <li>・収集品目の見直し検討</li> <li>・戸別収集、夜間収集の検討</li> <li>・粗大ごみの再資源化・減量化</li> </ul>	<p><b>(1) 収集運搬</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> <li>・生ごみの減量化（一部中間処理に統合）（削除）</li> <li>・ごみ分別やごみ出しルールの徹底</li> <li>・ごみ出し困難世帯への対策</li> <li>・不法投棄への対策</li> <li>・資源物持ち去り業者への対策（削除）</li> <li>・戸別収集の検討（夜間収集削除）（中間処理に統合）</li> </ul>
<p><b>(2) 中間処理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剪定枝の資源化の検討</li> <li>・小型家電の資源化の検討</li> <li>・事業系ごみの資源化の検討</li> <li>・粗大ごみの自己搬入受入体制の検討</li> <li>・多目的ストックヤードの整備の検討</li> <li>・非焼却処理への転換の検討</li> <li>・高効率ごみ発電の検討</li> <li>・各施設更新・再延命化の検討</li> <li>・蕨戸田衛生センター施設の整備、配置の検討</li> <li>・廃棄物処分手数料（ごみ、浄化槽汚泥）の見直し</li> </ul>	<p><b>(2) 中間処理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源化の推進</li> <li>・粗大ごみの自己搬入受入体制の検討</li> <li>・災害時の処理体制確保</li> <li>・将来の施設整備に向けた検討</li> <li>・各施設の適切な維持管理・施設整備</li> <li>・廃棄物処理費用の負担の最適化</li> </ul>
<p><b>(3) 最終処分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分量の減量化</li> <li>・埋立処分以外の資源化</li> </ul>	<p><b>(3) 最終処分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分量の減量化</li> <li>・最終処分先の安定確保</li> </ul>
<p><b>(4) その他項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育の充実</li> <li>・地域貢献の検討</li> <li>・災害発生時における家庭ごみの収集体制の維持やごみ収集車が用いる燃料の確保</li> <li>・震災等、被災時の施設運転用水への地下水活用等の検討</li> <li>・緊急時に備えた自家発電等による全施設の自立運転化の検討</li> <li>・ごみの排出抑制のための家庭ごみの有料化の検討</li> <li>・放射性物質を含む廃棄物による環境の汚染防止</li> </ul>	<p><b>(4) その他項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な環境教育の実施</li> <li>・地域貢献事業の実施</li> <li>・災害廃棄物処理体制の構築</li> <li>・処理体制・各処理施設の強靱化</li> <li>・家庭ごみ有料化の検討（削除）</li> </ul>

## 2. 意識調査結果から抽出された課題

---

市民意識調査及び事業者意識調査から抽出された課題は以下のとおりです。

### (1) 市民意識調査

#### 【3Rの取組】

- ・リユース（再使用）の取組率の向上
- ・環境配慮型商品を選択することの啓発

#### 【ごみの分別・排出方法】

- ・燃やすごみに含まれる紙類・布類などの分別強化（資源化の推進）
- ・不燃ごみに含まれる小型家電・二次電池の分別強化（資源化の推進、火災リスクの低減）
- ・分別ルールの簡明化
- ・外国人向けの周知方法の検討、啓発強化
- ・収集頻度、地区ごとの収集時間の見直しの検討
- ・夜勤者や自治組織未加入者等のごみ出し機会の提供
- ・粗大ごみの申込、シール購入の利便性向上
- ・粗大ごみの直接持込の検討
- ・二次電池や小型家電の利便性の高い回収拠点の設置
- ・集積所の適正管理の強化（鳥獣害対策・回収カゴ管理・配置の最適化等を含む）
- ・集積所の不適正ごみの取扱いルールの確立・周知
- ・事業者による集積所への不法投棄対策（少量排出の承認制度の導入）
- ・ごみ収集車両の安全対策、環境負荷の低減
- ・処理困難物の収集、処分委託の検討

#### 【食品ロス】

- ・家庭や事業者での食品ロスの削減
- ・食品ロスの有効活用方法（子ども食堂、フードパントリー）の検討、啓発強化
- ・生ごみの堆肥化（コンポスト等）の促進

#### 【プラスチック】

- ・使用済みプラスチック使用製品（プラマークのないプラスチック）の資源化検討
- ・プラスチックごみの分別ルールの啓発強化

#### 【ごみ処理の有料化】

- ・有料化の検討（実施有無、実施の場合は配慮事項を課題として検討）

#### 【その他】

- ・市や組合の事業の周知強化
- ・ごみ処理の見える化
- ・減量化・資源化の推進
- ・環境学習の充実
- ・ごみ処理費用の削減
- ・効果的な情報発信方法の検討
- ・無関心層等に対する取組の強化

## (2) 事業者意識調査

- ・ 廃棄物の種類・分別ルールや、廃棄物処理やリサイクルの仕組み・制度の周知強化（受入基準含む）
- ・ 廃プラスチック類の適正排出や、減量・リサイクルの推進
- ・ 減量・リサイクルに関する情報提供
- ・ 少量事業系一般廃棄物の集積所回収の検討

## 3. 食品ロス実態調査（ごみ組成調査）から抽出された課題

---

食品ロス実態調査（ごみ組成調査）から抽出された課題は以下のとおりです。

- ・ 食品ロスの削減
- ・ 容器包装プラスチック、紙類の分別強化
- ・ 電化製品や乾電池、二次電池の分別強化

## 4. その他の新たな課題

---

平成 25 年度に既存計画を策定してから現在までの間に、新たに現れた課題は以下のとおりです。

### 【資源化】

- ・ 生ごみの資源化
- ・ プラスチック資源循環推進法への対応
- ・ 使用済み紙おむつの非焼却・資源化
- ・ 粗大ごみ、不燃ごみに含まれる非鉄金属の回収

### 【搬入】

- ・ 粗大ごみ処理施設への爆発危険物の混入防止
- ・ 事業系資源ごみの受入の検討
- ・ 事業系ごみ指定袋制度の整理検討

### 【施設】

- ・ 水害対策
- ・ 災害時の防災拠点・避難場所としての機能検討
- ・ 施設設備の老朽化・安全対策

### 【その他】

- ・ 情報公開体制の整備・充実

## 5. 新計画における課題案（まとめ）

---

以上より、新計画における課題（案）は次ページのとおりとします。

## (1) 発生抑制

- ・ 生ごみや食品ロスの減量化の推進
- ・ 廃プラスチックの減量化の推進
- ・ リユース（再使用）の取組強化

## (2) 資源化

- ・ 資源化の推進（紙類、容器包装プラスチック、布類、小型家電、二次電池、粗大ごみ、事業系ごみ、処理残渣など）
- ・ 資源化の検討（生ごみ・食品ロス、使用済みプラスチック使用製品、使用済み紙おむつ、剪定枝など）

## (3) 収集運搬

- ・ 収集体制の検討（収集方式、収集頻度、収集時間）
- ・ 分別の啓発強化（可燃ごみ中の焼却不適合物や廃プラスチック、事業系ごみなど）
- ・ ごみ出しルールの啓発強化・周知方法の検討（外国人世帯や単身世帯など）
- ・ 集積所の適正管理の強化（不適正ごみ対策、鳥獣害対策、回収カゴ管理、配置の最適化）
- ・ 粗大ごみの適切な受入体制の検討（申込体制、自己搬入受入体制）
- ・ ごみ出し困難世帯への対策（高齢者、障害者、夜勤者、自治組織未加入者など）
- ・ 少量の事業系一般廃棄物・資源物の集積所回収検討
- ・ ごみ収集車両の安全対策（交通、火災防止）、環境負荷の低減の推進
- ・ 処理困難物の収集、処分委託の検討

## (4) 中間処理

- ・ 各施設の適切な更新・維持管理（将来の施設整備に向けた各種検討、老朽化対策、効率的・経済的な維持管理など）
- ・ 処理体制・各処理施設の強靱化（災害時の処理体制確保、防災拠点や避難場所としての機能など）
- ・ 処理施設での火災・爆発防止（二次電池や爆発危険物など）
- ・ 事業系資源ごみの受入検討

## (5) 最終処分

- ・ 最終処分量の減量化（ごみの減量化・資源化、残渣の資源化など）
- ・ 最終処分先の安定確保

## (6) その他

- ・ 環境教育の充実
- ・ ごみの減量・リサイクルに関する情報の充実・周知啓発強化
- ・ 地域貢献の充実
- ・ 不法投棄への対策
- ・ 資源物持ち去り業者への対策
- ・ ごみ処理費用の負担方法の総合的検討（家庭ごみ有料化の検討、事業系一般廃棄物処分手数料の見直し、処理困難物の処理コスト負担、事業系ごみ指定袋制度等）
- ・ 災害廃棄物処理体制の構築
- ・ 情報公開体制の整備・充実